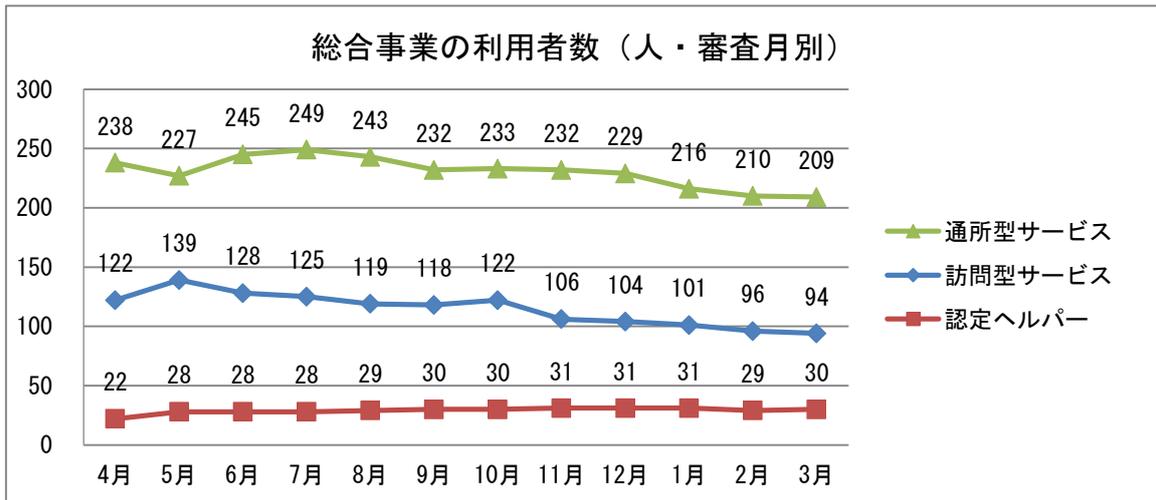


平成 29 年度介護予防・日常生活支援総合事業の実績報告

1 利用者数

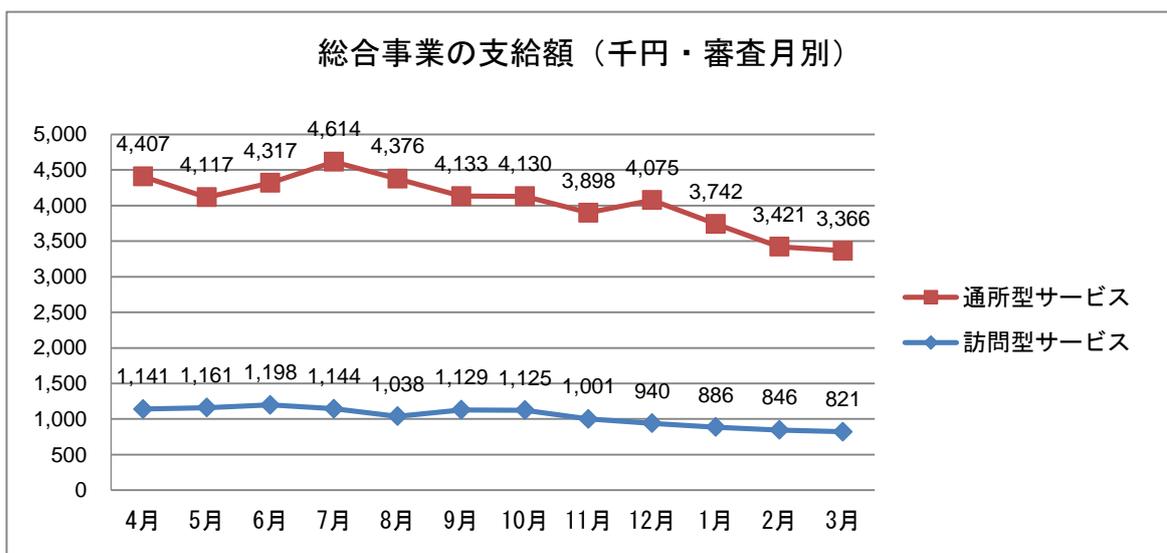
- 訪問型サービス、通所型サービスとも減少傾向にある。(3月審査分の前年度比較では、訪問型サービスが 22.7%減、通所型サービスが 13.3%減。)
- 訪問型サービス全体の利用者が減少している中、認定ヘルパーの利用者については、横ばいの傾向にある。



- \*各月の数値は審査データによるものであり、実際の利用(サービス提供)は概ね前月分。
- \*認定ヘルパーの利用者数は、市内の住所地特例対象施設入所者(他市被保険者)を含む。

2 支給額

- 訪問型サービス、通所型サービスとも減少傾向にある。(3月審査分の前年度比較では、訪問型サービスが 21.0%減、通所型サービスが 21.5%減。)
- 利用者数の減少が支給額にも影響していると考えられる。



- \*各月の数値は審査データによるものであり、実際の利用(サービス提供)は概ね前月分。

### 3 事業所の指定

○総合事業の事業所のみなし指定（＊）の終了（平成 30 年 3 月末まで）に伴い、平成 30 年 4 月以降の指定の申請を受け付けた。

＊みなし指定 平成 27 年 3 月までに従来の介護予防訪問介護、介護予防通所介護の指定を受けていた事業所については、平成 30 年 3 月 31 日まで総合事業の事業所の指定を受けたものとみなし、総合事業開始後も継続してサービスを提供できることとした制度

○みなし指定の終了前後の事業所数を比較すると、訪問型サービスは 16 事業所の減、通所型サービスは 9 事業所の減だったが、申請を行わなかった事業所のうち訪問型サービスの 2 事業所以外は総合事業の利用がなかったため、みなし指定の終了による利用者への影響は限定的だったと考えられる。（利用のあった 2 事業所の利用者については、他事業所のサービスが利用できるよう調整を行った。）

＜みなし指定終了前後の指定事業所数の変化＞

	3 月 1 日時点	4 月 1 日時点
訪問型サービス	54 事業所	38 事業所
通所型サービス	70 事業所	61 事業所

### 4 武蔵野市認定ヘルパーの養成

○5 月、12 月、3 月に武蔵野市認定ヘルパー養成研修を実施し、計 23 名のヘルパーを新たに養成した。

○認定ヘルパーの所属先として 1 事業所が新たに追加された。

○幅広い層（年代）が受講しやすい研修とするため、平成 30 年度からは 3 日間の研修（1 日 6 時間）を 8 日間（1 日 2 時間 15 分）に変更の予定。

	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
認定者	97	97	97	107	107	107	107	107	107	107	112	120
登録者	福祉公社	3	3	3	4	4	4	3	3	3	3	3
	シルバー人材センター	73	73	73	78	78	78	78	78	78	78	86
	ワーカーズどんぐり	—	—	—	—	—	—	—	—	—	3	3
	合計	76	76	76	82	82	82	81	81	81	81	84

### 5 一般介護予防事業

○一般介護予防事業内の地域リハビリテーション活動支援事業において、「いきいきサロン」等の住民主体の集いの場に講師を派遣し（全 12 回）、介護予防に資する体操等を指導する介護予防活動支援事業を実施（武蔵野市柔道整復師会、生活体操研究会（不老体操受託団体）に委託。）いきいきサロン活動予定団体の 2 団体が本事業を利用。

○介護予防事業の関係課、関係団体で構成する武蔵野市介護予防事業連絡調整会議において、啓発パンフレット「市民みんなで目指す「健康長寿のまち武蔵野」」の改訂版を作成。